

2023

8

東京フィルの

午後の コンサート。



chie /d.

第31回 平日の午後のコンサート

2023年8月7日(月)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール
〈真夏の午後の夢〉



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第31回

平日の午後のコンサート

2023.8.7(月) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Mon. Aug. 7, 2023, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈真夏の午後の夢〉 〈Midsummer Afternoon Dreams〉

指揮とお話 出口大地 Daichi Deguchi, conductor & speaker

ピアノ 清水和音* Kazune Shimizu, piano

コンサートマスター 依田真宣 Masanobu Yoda, concertmaster

ハチャトゥリアン：劇音楽『仮面舞踏会』より

“ワルツ” “ノクターン” “ギャロップ” (約11分)

Khachaturian: Waltz, Nocturne & Galop from Masquerade (ca. 11 min)

グリーグ：ピアノ協奏曲より第1楽章* (約13分)

Grieg: 1st movement from Piano Concerto (ca. 13 min)

— 休憩 intermission —

ベルリオーズ：幻想交響曲より (約21分)

Berlioz: 2nd, 4th, 5th movement from Symphonie fantastique (ca. 21 min)

第2楽章「舞踏会」 2nd mov. Un bal

第4楽章「断頭台への行進」 4th mov. Marche au Supplice

第5楽章「ワルプルギスの夜の夢」 5th mov. Songe d'une Nuit du Sabbat

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話 出口大地

Daichi Deguchi, conductor & speaker

第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ賞受賞。関西学院大学、東京音楽大学指揮科にて学び、2023年ハンスアイスラー音楽大学ベルリン指揮科修士課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で日本デビュー。広上淳一、クリスティアン・エーヴァルト、パーヴォ・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、井上道義、沼尻竜典、下野竜也各氏らの薫陶を受け、ベルリン放送交響楽団ではグラディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務めた。

公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>



©hiro.pberg_berlin

ピアノ 清水和音

Kazune Shimizu, piano

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。ショパン、ベートーヴェン、ラフマニノフなどを中心に幅広いレパートリーを誇り、日本を代表するピアニストとして活躍中。



©Mana Miki

プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

色彩感豊かなメロディが誘う“真夏の午後の夢”

本日のマエストロ、出口大地は第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門で日本人初の優勝を果たした気鋭の指揮者。受賞を受けて、昨年、東京フィルの定期演奏会でオール・ハチャトゥリアン・プログラムにより日本デビューを飾りました。

本日はそんなマエストロにふさわしく、ハチャトゥリアンの名曲、『仮面舞踏会』で幕を開けます。ちなみにマエストロは左利き。左手に指揮棒を持つ姿はかなり珍しい光景かもしれません。

グリーグのピアノ協奏曲では、日本を代表する名ピアニスト、清水和音が独奏を務めます。大ベテランと新鋭の共演で、グリーグならではの北欧情緒をたっぷりとお楽しみください。

最後に演奏されるベルリオーズの『幻想交響曲』は作曲家の熱烈な恋心から生まれたエネルギッシュな名曲。オーケストラからカラフルなサウンドが生み出されます。豊かな色彩感とイマジネーションが幻想の旅へと誘ってくれます。



マエストロ出口によるスケールの大きな指揮と軽快なトークをお楽しみください

悲劇の予感漂うワルツ、憂愁のノクターン、喧噪のギャロップ

アラム・ハチャトゥリアン (1903-1978) は旧ソビエト連邦で活躍したアルメニア人作曲家です。少年期には正規の音楽教育に恵まれませんでした。多民族が共生する故郷で幼少時からさまざまな民族音楽に親しむことで、独自の感性を育みました。人気作「剣の舞」はだれもがどこかで耳にしていることでしょう。

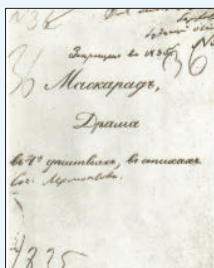


劇音楽『仮面舞踏会』は19世紀ロシアの詩人・小説家レールモントフが書いた同名の戯曲のために作曲されました。ストーリーはロシアの貴族社会を舞台とした悲劇。主人公アルペーニンは美しい妻ニーナと仮面舞踏会に出かけます。ニーナは舞踏会でうっかり自分のブレスレットを落としてしまいます。拾われたブレスレットは人から人へと渡り、ある公爵が手にすることに。公爵は口説いた女からもらったのだとブレスレットをアルペーニンに見せびらかします。アルペーニンはニーナが不貞を働いたと勘違いして、激しい嫉妬に苛まれます。嫉妬はやがてどす黒い憎悪へ。アルペーニンはひそかに毒を盛ったアイスクリームをニーナに食べさせます。真相を知ったのは、ニーナが息絶えた後でした……。

“**ワルツ**”はこの劇音楽でもっとも広く親しまれている名曲。かつてフィギュアスケートで浅田真央選手が用いたことから一躍人気を高めました。華やかで重厚な曲想が舞踏会の情景を表現する一方、悲劇の予感も漂わせます。“**ノクターン**”では独奏ヴァイオリンの愁いを帯びた表情が印象的。“**ギャロップ**”では、はめを外して大騒ぎをする様子が伝わってきます。



レールモントフ



戯曲『仮面舞踏会』(1835年)の表紙

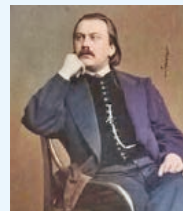
フィヨルドに流れ込む滝のようなパッセージ

ノルウェーが生んだ最大の作曲家が**エドヴァルド・グリーグ** (1843-1907)。母親はドイツで教育を受けたピアニスト、父親はスコットランド系の商人でイギリス領事という家庭環境に生まれました。幼少時のピアノの先生は母親。15歳になると、ノルウェーの著名な音楽家オーレ・ブルに才能を見出され、より本格的に音楽を学ぶために、ドイツのライプツィヒ音楽院に留学しました。ここでグリーグはピアノと作曲を学びますが、音楽院生活は若き才能にとって退屈なものだったようです。むしろ、グリーグにとって有益だったのは、ライプツィヒの豊かな音楽環境だったにちがいありません。この文化都市でグリーグはさまざまな演奏会に足を運びました。そのなかには、シューマンのピアノ協奏曲イ短調を妻のクララ・シューマンが弾いた公演もありました。当時、クララ・シューマンは天才ピアニストとして作曲家である夫をしのぐ名声を誇っていました。



留学から帰国すると、グリーグはノルウェーの民族主義に目覚め、国民楽派の作曲家として自らの作風を確立します。当時、北欧をはじめヨーロッパ諸国には、自国の文化や伝統を作品に取り入れようという考え方が広まっていたのです。

1868年、グリーグはデンマークを訪れ、友人ですぐれたピアニストのエドモン・ネウベットらとともにコペンハーゲン郊外の田舎町に滞在します。ここでグリーグは**ピアノ協奏曲**の作曲に取り組みました。作曲にあたっては、ネウベッ



エドモン・ネウベット

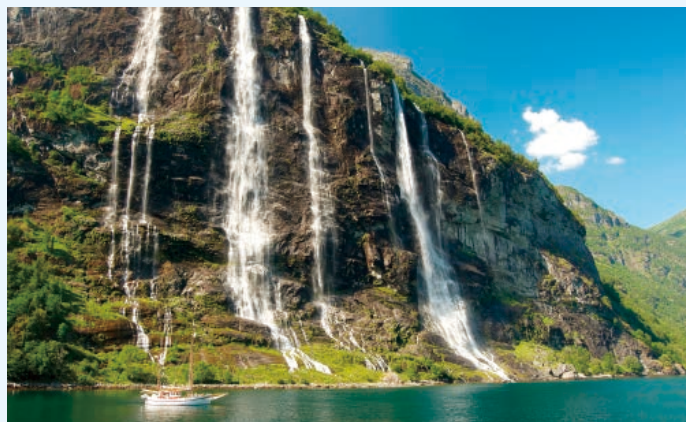
からの助言も大いに役立ったことでしょう。作品はネウベットに献呈され、翌69年コペンハーゲンで行われた初演は大成功を収めます。聴衆からは嵐のような拍手が送られました。



グリーグのピアノ協奏曲が初演されたカシノホールの外観

曲は全3楽章からなります。本日演奏されるのは、**第1楽章 アレグロ・モルト・モデラート**。とりわけ有名なのが冒頭の部分です。ティンパニのクレッシェンドに導かれ、独奏ピアノが高いところから下に落ちてゆくかのようなパッセージを奏でます。この部分は、まるでノルウェーのフィヨルドに流れ込む滝のようだとよく指摘されます。加えて、この作品には同じイ短調で書かれたシューマンのピアノ協奏曲を連想させるところもあります。ノルウェーらしさとドイツ音楽の伝統の両方の要素が一体となって、新たなピアノ協奏曲の傑作が誕生しました。

初演の翌年、グリーグはこのピアノ協奏曲を持参して、ローマに当時最大のピアニストであり作曲家のリストを訪ねています。楽譜を手にしたリストは、初見で曲を演奏し、グリーグを温かく激励したと伝えられています。

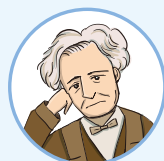


ノルウェーのフィヨルドの風景

©stock.adobe.com

色彩感豊かな幻想的世界

「幻想」という言葉から思い浮かぶイメージはどんなものでしょうか。現実離れた夢のように美しい光景を想像する方もいれば、ファンタジーなど幻想文学の世界を連想する方もいらっしゃるでしょう。



フランスの作曲家、**エクトル・ベルリオーズ** (1803～1869) が『**幻想交響曲**』で表現したのは、失恋して絶望した芸術家が薬物によって体験する奇怪な幻覚

です。「幻想」というよりは「妄想」と呼んだほうがふさわしいかもしれません。曲の副題は「ある芸術家の生涯からのエピソード」。感受性の鋭い芸術家が失恋してアヘンで服毒自殺を図ったところ、アヘンは致死量には至らず、芸術家は幻覚を見ます。そこで芸術家は恋人を殺し、殺人の罪でギロチンにかけられます。



ハリエット・スミッソン

この「ある芸術家」とは、ずばり、作曲者自身のこと。ベルリオーズはイギリスの劇団によるシェイクスピアの「ハムレット」の上演を目にして、オフィーリア役の女優ハリエット・スミッソンに熱烈な恋心を抱きます。ベルリオーズは懸命にスミッソンを追いかけますが、当時まだ駆け出しだった作曲家をスミッソンが相手にすることはありませんでした。満たされぬ思いに苛まれたベルリオーズは、苦しみを芸術へと昇華させます。そこで書きあげられたのが『幻想交響曲』。色彩感豊かで、奇抜なストーリー性を持った革新的な大作交響曲が生まれました。

曲は全5楽章から構成されています。本日演奏されるのは、その第2楽章、第4楽章、第5楽章です。

第2楽章は「舞踏会」のシーン。ハーブが活躍する華麗なワルツが奏でられます。舞踏会には恋人の姿も。

第4楽章は「断頭台への行進」。失恋した芸術家は恋人を殺してしまい、死刑が宣告されます。そして、勇ましいマーチとともにギロチン台へ。まるでお祭り騒ぎのような賑やかな音楽が鳴り響きます。一瞬、可憐な恋人の姿を思い浮かべますが、無情にもギロチンの刃が落とされます。

第5楽章は「ワルプルギスの夜の夢」。ここは亡霊たちの世界。主人公の葬儀に魔女や化け物たちが集まってきて、不気味な宴会をくりひろげます。そして死んだ恋人が醜い姿に変わり果てて、乱痴気騒ぎに加わります。吊いの鐘とともに現れるのは古くから伝わる「怒りの日」のテーマ。曲は一段と高潮し、禍々しいクライマックスへと突き進みます。

いいお・よういち(音楽ジャーナリスト)／著書に『クラシック音楽のトリセツ』(SB新書)、『R40のクラシック』(廣済堂新書)、『マンガで教養 はじめてのクラシック』監修(朝日新聞出版)、『クラシックBOOK』(三笠書房)他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

今回の午後のコンサート

お客様の質問募集中!

平日

第32回 平日の午後のコンサート
11月6日(月)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈なんでもOKストラ!!〉

指揮とお話: 円光寺雅彦 ピアノ: 清塚信也*



円光寺雅彦
©K. Miura

清塚信也
©Yuji Takeuchi

グリンカ/歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番より第2楽章*
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番『皇帝』より第3楽章*
チャイコフスキー/『くるみ割り人形』より“金平糖の踊り”
ラヴェル/ボレロ

1回券
8月発売!

円光寺雅彦 桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を齋藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。

清塚信也 5歳よりクラシックピアノの英才教育を受け、桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後、モスクワ音楽院に留学。国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ『のためカンタービレ』で玉木宏演じる「千秋真一」の吹き替え演奏を担当、映画『さよならドビュッシー』で俳優デビュー。映画、舞台、TVドラマ等で劇中音楽を手掛けるなど、作曲家として活動の幅を広げるほか、ピアニストとして次々と新しいフィールドへの挑戦を続け、常に話題と注目を集めている。

休日

第98回
休日の午後の
コンサート

予定枚数
終了

渋谷

第19回
渋谷の午後の
コンサート

残席
わずか

9月3日(日)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈コバケンのベートーヴェン!〉

指揮とお話: 小林研一郎
ピアノ: 中川優芽花*(※)

ベートーヴェン/
劇音楽『エグモント』序曲
ピアノ協奏曲第5番『皇帝』*(※)
交響曲第6番『田園』より第1楽章
交響曲第7番より第2楽章
交響曲第3番『英雄』より第4楽章

※当初の発表から変更となりました。

9月18日(月・祝)14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

〈秋の大感謝祭〉

指揮とお話: 角田鋼亮
ゲスト(ピアノ)

園田隆一郎*、三ツ橋敬子*

ベルリオーズ/序曲『ローマの謝肉祭』
サン＝サーンス/動物の謝肉祭*
レスピーギ/交響詩『ローマの祭』
外山雄三/管弦楽のためのラプソディ

2人の指揮者が
ピアニストとして
登場!

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休 発売日の土日祝は10時～16時営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

午後のコンサート 2023シーズンのラインナップ

「午後のコンサート」2023シーズンは、4回セット券でご来場されるお客様が3シリーズで9割を超え、シーズンを通してオーケストラの名曲と音楽家のとっておきのお話をお楽しみいただいております。今月は11月・12月公演の1回券を発売いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

渋谷の午後のコンサート 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00

9月18日(月・祝)

第19回

〈秋の大感謝祭〉

指揮とお話:

角田鋼亮

ゲスト(ピアノ):

園田隆一郎*

三ツ橋敬子*

1回券
発売中



©Hikaru Hoshi

©Eiri Ross

ベルリオーズ／序曲『ローマの謝肉祭』

サン＝サーンス／動物の謝肉祭*

レスピーギ／交響詩『ローマの祭』

外山雄三／管弦楽のためのラプソディ

※東急百貨店本店跡地の再開発に伴い、「渋谷の午後のコンサート」は当面の間、週末の開催になります。

11月5日(日)

第20回

〈なんでもOKストラ!!〉

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也*

1回券
8月発売



©三浦典一

©Yuji Takeuchi

グリムカ／

歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲

ラフマニノフ／

ピアノ協奏曲第2番より第2楽章*

ベートーヴェン／

ピアノ協奏曲第5番『皇帝』より第3楽章*

チャイコフスキー／

『くるみ割り人形』より「金平糖の踊り」

ラヴェル／ボレロ

※11月6日「平日の午後のコンサート」と同演目です。

平日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

11月6日(月)

第32回

〈なんでもOKストラ!!〉

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也*

1回券
8月発売



©三浦典一

©Yuji Takeuchi

グリムカ／

歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲

ラフマニノフ／

ピアノ協奏曲第2番より第2楽章*

ベートーヴェン／

ピアノ協奏曲第5番『皇帝』より第3楽章*

チャイコフスキー／

『くるみ割り人形』より「金平糖の踊り」

ラヴェル／ボレロ

※11月5日「渋谷の午後のコンサート」と同演目です。



イラスト:ハラダチエ

休日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

9月3日(日)

第98回

〈コパケンのベートーヴェン!〉

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

中川優芽花(※)*

予定枚数
終了



©上野隆文

ベートーヴェン/

劇音楽『エグモント』序曲

ピアノ協奏曲第5番『皇帝』*(※)

交響曲第6番『田園』より第1楽章

交響曲第7番より第2楽章

交響曲第3番『英雄』より第4楽章

12月3日(日)

第99回

〈クリスマス in ニューヨーク〉

指揮とお話:

円光寺雅彦

ヴァイオリン:

廣津留すみれ*

1回券
8月発売



©K.Miura ©Ryuto Kurokawa

アンダーソン/舞踏会の美女

モンティ/チャールダーシュ*

エルガー/愛のあいさつ*

サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン*

ワルトイフェル/スケーターズ・ワルツ

チャイコフスキー/

バレエ組曲『くるみ割り人形』

※9月3日公演のソリストならびに楽曲が当初の発表から変更となっております。

午後のコンサート 2023シーズンの発売スケジュールについて

◆8月7日・9月3日公演 予定枚数終了

◆9月18日公演 1回券発売中

◆11月・12月公演1回券の発売スケジュール

最優先※お電話のみ(賛助会員様、定期会員様)	8/22(火)10:00
優先※お電話のみ(東京フィルフレンズ会員様)	8/26(土)10:00
優先(WEB優先発売)	8/26(土)10:00~9/4(月)23:59
一般発売	9/5(火)10:00

チケット料金	S席	A席	B席	C席
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ会員)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券は4回セット券の販売後、残席ある場合のみ販売いたします。

すでに残席が少ないシリーズやセット券で完売している席種もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522(平日10時~18時/土日祝休 発売日の土日祝のみ10時~16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



2023シーズン 今後の定期演奏会

112年目を迎えた東京フィルの2023シーズン定期演奏会、当楽団が誇るマエストロたちと次代を担う音楽家たちとともに大好評開催中です。10月はフランスの新星クロエ・デュフレーヌによるフランス・プログラム、11月は首席指揮者アンドレア・バッティストーニによる、オール・チャイコフスキー・プログラムです。お聴き逃しなく！

10
月

指揮: クロエ・デュフレーヌ

(2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞)

ヴァイオリン: 中野りな*

(2022年仙台国際音楽コンクール優勝)

第157回 10月18日(水) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第990回 10月19日(木) 19:00

サントリーホール

第991回 10月22日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

リリ・ブーランジェ／春の朝に

(リリ・ブーランジェ生誕130年)

サン＝サーンス／

ヴァイオリン協奏曲第3番*

ベルリオーズ／幻想交響曲



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

11
月

指揮: アンドレア・バッティストーニ

(首席指揮者)

チェロ: 佐藤晴真*

(2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

第992回 11月10日(金) 19:00

サントリーホール

第993回 11月12日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

第158回 11月16日(木) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

チャイコフスキー／

幻想曲『テンペスト』

ロココの主題による変奏曲*

幻想序曲『ハムレット』

幻想序曲『ロメオとジュリエット』

(チャイコフスキー没後130年)



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

| お問い合わせ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休／
発売日の土日祝は10時～16時)URL www.tpo.or.jp/ (24時間受付・座席選択可)

詳細は



「みずみずしい息吹に あふれた作品で 音楽を分かち合う」

名門シベリウス・アカデミーを経て
ロサンゼルスとパリで活躍する
クロエ・デュフレーヌの日本デビューが迫る

@Capucine de Chocqueuse

10月の定期演奏会は東京フィル初登場、日本デビューとなるフランスのクロエ・デュフレーヌが登場。ヴァイオリニスト中野りなとの共演で、19～20世紀フランス作曲家の魅力的なプログラムをお届けします。生誕130年を迎える夭折の作曲家リリ・ブーランジェの作品も注目。6月初旬にパリで取材したデュフレーヌの談話とともにその経歴を紹介します。取材・文＝岡田ヴィクトリア朋子（音楽ジャーナリスト）

2020年東京オリンピックの閉会式でのフランス大会のプレゼンテーションで、フランス国立管弦楽団を指揮してフランス国歌ラ・マルセイエーズを演奏するビデオが映し出され、一挙に日本の人々に知られるようになったクロエ・デュフレーヌ。翌年のブザンソン国際指揮者コンクールでは3人のファイナリストの中に残り、聴衆賞、オーケストラ賞、審査員特別賞を受賞。現在ロサンゼルスでグスターボ・ドゥダメルのアシスタントを務めるなど、注目度が急激に高まっている。一体どんなバックグラウンドを持った人なのだろうか。6月初め、パリのフィルハーモニーでアマチュアオーケストラ（といっても実力はプロ級）を指揮するというので、コンサートの前に実際に彼女に会いに行った。その内容も交えて、彼女の魅力を紹介したい。

音楽にあふれた子供時代

最初に音楽に触れたのはピアノで、5歳ぐらいの時に、あるピアノ演奏を聴いて母親に自分もピアノを習いたいと言ったのが始まりだという。その後8歳で地元モンペリエの音楽院に入学。半日は普通の小学校、半日は音楽院という特別カリキュラムでヴィオラと歌を始



ロサンゼルスとフランスを両拠点に活動するデュフレーヌ。幼少期からオペラに親しんできたという©Yves Petit

めた。同時にモンペリエ・オペラの少年少女合唱団員として舞台に立ち始め、時には子役ソリストも務めた。当時の合唱指揮者が女性で、素晴らしい指導をしてくれたこともあり、すでに、彼女のように人々に音楽の楽しさを伝えられる人になりたいと思っていたそうだ。オペラでは子供の合唱団の出番は少ないので待ち時間が多く、「その間舞台裏で画面に映る指揮者の姿に魅了されていた」と語る。このように、彼女の原点となっているのは、合唱団員、ソリストとして歌い、音楽院オケでヴィオラを演奏するという、音楽にあふれた子供時代の経験なのだ。

指揮者として

合唱団の指揮者に魅せられた彼女は、音楽院で友達を集めて合唱や器楽アンサンブルなどを指揮するようになった。それは、自分が皆を「指揮」して統率したいというよりは、友達とお互いに助け合って皆で音楽をしたい、という望みからのものだった。そんな中でアマチュアオーケストラを頻繁に指揮するようになり、本格的な



アカデミーでの指揮姿も
©Theresa Pewal

勉強をするためにパリのエコール・ノルマル音楽院に入学。ディプロマを得た後、2015年から、最前線で活躍する多くの指揮者を輩出しているヘルシンキの名門シベリウス・アカデミーでみっちり学んだ。ここでの5年半に、プロとしての基本を叩き込まれたのだ。その間、2018～19年には、交換留学制度を利用してパリ国立高等音楽院に入

学しアラン・アルティノグリユ(ブリュッセル・モネ劇場芸術監督)のもとでも研鑽を重ねた。2021年にはマルコとプザンソンの国際指揮者コンクールにたった3ヶ月のインターバルで参加。マルコでは3位に入賞。そして今、ドゥダメルのアシスタントを務めるに至っている。

東京フィル指揮で日本に初登場

東京フィルハーモニー交響楽団の10月の定期演奏会で日本デビューを飾る彼女。フランス音楽プログラムで注目なのはリリ・ブーランジェの『春の朝に』だろう。室内楽版とオーケストラ版があり、最近活発に取り上げられている女性作曲家の作品の中でも演奏頻度が高い。5分ほどの小曲だが「みずみずしい息吹にあふれた秀作でオーケストレーションも素晴らしく、自然を扱ったテーマは日本文化にある自然への慈しみと通ずるものがあるので、日本の方々にも好んでいただけるのでは」と語る。日本人には、感情をあからさまにはしないが内面的な強さを持っているというイメージがあり、それはラテン気質で物事を本能的に感じ取るという彼女自身の性格とは反対なので、それがどのように音楽に映し出されていくのかが楽しみだ、と語った。ベルリオーズの『幻想交響曲』は外に向かった曲だが、「舞踏会」や「野の風景」には繊細さがあり、「一方的に観点を押し付けるのではなく、自分の感性を通じて、見方、感じ方を分かち合いたい」と抱負を語る。それは、中野り



今年生誕130年を迎えた
夭折の作曲家リリ・ブー
ランジェ(1893-1918)



などの初顔合わせとなるサン＝サーンスの「ヴァイオリン協奏曲第3番」でも同じ。「フランス音楽は自分のアイデンティティーをつくっている重要な要素なので、これを存分に日本の皆様に聴いていただけたら」と、今から日本公演を大いに心待ちにしている様子が印象的だった。

俊英・中野りなどはサン＝サーンス
「ヴァイオリン協奏曲第3番」で共演
©kisekimichiko

岡田ヴィクトリア朋子(おかだ・ヴィクトリア・ともこ)ノパリ・ソルボンヌ大学で音楽学博士号を取得。2005年よりフランス、ベルギー等で執筆活動を開始、その傍ら、音楽・美術分野で翻訳家として活動。白水社クセジュ文庫から訳書『西洋音楽史年表』『オペレッタ』『100語でわかるクラシック音楽』を出版。国際音楽評論家協会理事、フランス演劇・音楽・ダンス職業評論家協会理事、フランス文芸翻訳家協会会員。日仏クラシック音楽マガジンvivace-cantabile.com主催。

note : Victoria Okada

News & Information

オーケストラ・キャラバン～オーケストラと心に響くひとときを～
東京フィルハーモニー交響楽団 特別公演

日時 2023年8月20日(日) 15:00開演(14:15開場)

会場 東広島芸術文化ホール くらら 大ホール

曲目 チャイコフスキー／

歌劇『エフゲニー・オネーギン』より ポロネーズ

ワックスマン／カルメン幻想曲*

服部良一／蘇州夜曲*

服部克久／晩秋のアダージョ*

服部隆之／Les enfants de la Terre～地球のこどもたち* (『世界遺産』メインテーマ曲)

服部隆之／『真田丸』メインテーマ*

ラフマニノフ／交響曲第2番《ラフマニノフ生誕150年記念》

出演 角田鋼亮(指揮)、服部百音*(ヴァイオリン)

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

料金(全席指定・税込) S席¥4,000 A席¥3,000 B席¥2,000 学生(大学生以下)¥1,000

※未就学児はご入場いただけません。

チケット問合せ 東広島芸術文化ホールくらら 082-426-5990(10:00～19:00)

インターネット <https://kurara-hall.jp/ticket/>

※学生券はくららインターネット・くらら電話・窓口のみのお取り扱い。公演当日は必ず学生証をお持ちください。



©Hikaru Hoshi



©YUJIN INAGAKI

オーケストラ・キャラバン～オーケストラと心に響くひとときを～
東京フィルハーモニー交響楽団 特別公演
東京フィルの「午後のコンサート」in 門真

日時 2023年9月2日(土) 14:00開演(13:15開場)

会場 門真市民文化会館ルミエールホール 大ホール

曲目 ベートーヴェン／

劇音楽『エグモント』序曲

ピアノ協奏曲第5番『皇帝』*

交響曲第6番『田園』より第1楽章

交響曲第7番より第2楽章、交響曲第3番『英雄』より第4楽章

出演 小林研一郎(指揮とお話)、中川優芽花*(ピアノ)

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

料金(全席指定・税込) S席¥4,000 A席¥2,500 学生(高校生以下・座席選択可)¥1,000

※未就学児はご入場いただけません。

チケット問合せ 門真市民文化会館ルミエールホール 06-6908-5300(9:00～22:00/火曜休館)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>(Pコード: 245-855)

©山本倫子



7月からオーボエ・セクションに岡村彩香が入団いたしました。

「皆様、はじめまして、オーボエの岡村彩香です。吹奏楽っ子だった私が、初めて生で聴いたオーケストラが東京フィルでした。今その東京フィルの一員になったこと、とても嬉しく思います。

幅広いジャンルで素敵な音楽をお届けできるよう、心豊かに、皆様と楽しさを共有していけたらと思います。これからどうぞよろしくお願い致します」。



7月からクラリネット・セクションに鳥潟さくらが入団いたしました。

「みなさん、はじめまして。鳥潟さくらです。

小さな町の吹奏楽部で始めたクラリネット、留学先のフランスで出会ったバスクラリネット。知れば知るほど魅力的なこの2つの楽器を通して沢山の作品に出会い、幅広いスタイルの音楽を東京フィルの一員として演奏できることを心から嬉しく思っています。お客様に素敵な時間をお届けできるよう頑張ります」。



11月定期演奏会の聴きどころ、
東京フィルWEBで特別記事公開中!



特別対談

「シェイクスピアとチャイコフスキー
～音が語る、物語の世界」

翻訳家

松岡和子

首席指揮者

× アンドレア・バッティストーニ



©寺澤有雅

夏の軽井沢に奇跡のヴィルトゥオーゾが集う

軽井沢 大賀ホール classics 2023

8.12 15:00 開演 (開場 14:15)
[土] 軽井沢大賀ホール

阪田知樹 ピアノ・リサイタル

ショパン:

24の前奏曲 Op.28

リスト:

巡礼の年第2年「イタリア」S.161/R.10 より 他



チケット料金(各公演共通・税込・全席指定)

SS席 8,000円 S席 7,000円 A席 6,000円

B席 4,500円 W席(合唱席) 3,000円 C席(立見席) 2,500円

お問合せ: 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (平日10:00~18:00)

主催: 軽井沢大賀ホールCLASSICS実行委員会 (実行委員長 大賀緑)

協賛: 東通産業株式会社

協力: 公益財団法人軽井沢大賀ホール、公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団、ハーベスト・コンサート

後援: 軽井沢町、軽井沢町教育委員会 FM軽井沢

8.13 15:00 開演 (開場 14:15)
[日] 軽井沢大賀ホール

奇跡の チェロ・アンサンブル2023

クレンゲル: 讃歌

グリーグ: 組曲『ホルベアの時代から』

サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ

ピアソラ: ブエノスアイレスの四季 ~『夏』『秋』『冬』『春』 他



チケット申込み ※未就学児の入場はできません。

軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555 (10:00~18:00 / 休館日を除く)

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (平日10:00~18:00 / 土日祝休)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 8/12(土)241-348, 8/13(日)241-351]

Photo Reports 2023年6月の演奏会より

6月の最初の自主演奏会は人気の長寿シリーズ「休日の午後のコンサート」(指揮とお話は出口大地)、そして定期演奏会を含む4公演は桂冠指揮者・尾高忠明と俊英ピアニスト亀井聖矢さんとのプログラム。名匠と若き才能の共演は高い関心を呼び、各公演とも多くのお客様でにぎわいました。

写真=渡邊智也(6/22)、上野隆文(6/25)

第97回 休日の午後のコンサート 〈よくばりヴァイオリン〉(6/11)

指揮とお話：出口大地 / ヴァイオリン：松田理奈*
コンサートマスター：三浦章宏

ハチャトゥリアン／バレエ音楽『ガイヌ』より「剣の舞」
ヴィヴァルディ／『四季』より「春」*
チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲より第1楽章*
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲より第3楽章*
【ソリスト・アンコール】イザイ／無伴奏ヴァイオリン・
ソナタ第3番「バラード」より
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』
【オーケストラ・アンコール】ハチャトゥリアン／バレエ
音楽『ガイヌ』よりレズギンカ



マエストロ出口と松田理奈さんの楽しいお話も会場を盛り上げました



ヴィヴァルディ『四季』は小編成の弦楽合奏とのアンサンブルで

オーケストラ・キャラバン ～オーケストラと心に響く ひとときを～福山特別公演(6/22)

会場：ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ
指揮：尾高忠明(桂冠指揮者)
ピアノ：亀井聖矢* (2022年ロン＝ティボー国際音楽コンクール優勝)
コンサートマスター：近藤 薫

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番*
ラフマニノフ／交響曲第1番



6月定期直前の「オール・ラフマニノフ」は広島県福山市で。県外からもたくさんのお客様が来場され、注目の公演を楽しまれました



ホールの愛称「リーデンローズ(Reed & Rose)」は、福山市内を流れる芦田川(葦田川)の“葦”(Reed)と市の花であるバラ(Rose)に因んでつけられたそう

6月定期演奏会 (6/23、25、27)

指揮：尾高忠明(桂冠指揮者)

ピアノ：亀井聖矢* (2022年ロン＝ティボー国際音楽コンクール優勝)

コンサートマスター：近藤 薫

尾高忠明／オーケストラのための『イメージ』

〈ラフマニノフ生誕150年〉

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番*

ラフマニノフ／交響曲第1番



桂冠指揮者・尾高忠明



ラフマニノフのアニヴァーサリーを祝うプログラムで、名曲「ピアノ協奏曲第2番」を俊英・亀井聖矢さんと



最後のカーテンコールでは各公演、客席に向けてお話をされたマエストロ尾高。コンサートの最後に「東京フィルと共演して50年。兄(尾高淳忠)の作品やラフマニノフの難しい交響曲第1番を素晴らしい演奏してくれた。ソリストの亀井さんも素晴らしい」と喜びを込めて語られました

ご報告 日本ヴェルディ協会&東京フィル in ぶらあぼオンライン 〈ヴェルディ『オテロ』を知る〉



6月には、7月定期演奏会ヴェルディ『オテロ』に向けたオンライン・イベントを開催しました。東京フィルのYoutubeチャンネルでアーカイブ動画をご覧ください。

【第1回】6月2日(金)収録(出演：小畑恒夫(音楽評論家・昭和音楽大学客員教授)／小林厚子(ソプラノ歌手・デズデーモナ役)／ナビゲーター：河野典子(音楽評論家・日本ヴェルディ協会事務局長))



【第2回】6月16日(金)収録(出演：近藤薫(コンサートマスター)、斉藤和志(フルート首席奏者)、片岡夢児(コントラバス首席奏者)、ナビゲーター：河野典子(音楽評論家・日本ヴェルディ協会事務局長))



ハチャトゥリアンの『剣の舞』と
ドヴォルザークの『新世界より』東京大仏 乗蓮寺 住職
若林 隆壽

東京フィルゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第19回は、住職として寺院を経営しつつ、長年、災害被災地やフリースクール等の支援活動に携わっておられる若林隆壽様です。後援会員として東京フィルをご支援くださっています。小学生時代のお父上との思い出を綴ってくださいました。

1963年2月、旧ソビエト連邦の作曲家、アラム・ハチャトゥリアンが、名ヴァイオリニストのレオニード・コーガンと共に来日し、自身の作品を自ら指揮するというコンサートが開かれました。61年4月に開館したばかりの東京文化会館で、(記憶に間違いがなければ)アンコール曲として演奏されたのが、バレエ『ガイーヌ』最終幕の楽曲『剣の舞』でした。圧倒的なスピード感はもちろんのこと、まだ小学2年生だった私が見惚れたのはハチャトゥリアンのダイナミックな指揮でした。その日を境に頭の中には『剣の舞』が鳴り響き、タクト代わりの菜箸を、両親があきれるほどに振り続けていたことをはっきりと覚えています。生の指揮と演奏とを、父と並びの席で目の当たりにした瞬間が、クラシック音楽との出会いだったのです。

次のエポック・メイキングは、1964年3月に我が家にステレオがやってきたことでした。64年はアジアで初めての、前回の「東京オリンピック」が開催された年であり、当時は1ドル=360円の固定相場制で、海外もそしてステレオもまだまだ遠い存在の時代でした。

その時父が買い与えてくれたのは、セントラル・パークを背景に聳え立つ摩天楼が未知の世界への憧れをかき立てるジャケットの、

小学生の時から60年近く大切に
してこられた、ドヴォザーク『新
世界より』、スメタナ『モルダウ』
のLPレコード。
ラベルの「ステレオ・フォニック」
の文字が、往時の「ステレオ」の
目新しさを物語っています。



ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団演奏、ド
ヴォルザークの交響曲第9番(当時は第5番)『新世界より』のLPでした。レコード
盤に慎重に針を置き、左右のスピーカーの中央に座って演奏の開始を待ちます。

第1楽章、郷愁に満ちたチェロの旋律から印象的なホルンの主題、第2楽章の
「家路」、第3楽章の情熱的なスケルツォを経て、トランペットとトロンボーンによる
壮大な第4楽章へと向かう高揚感。その時覚えた全宇宙を前に独り立ったような
不思議な感覚は、幼いながらも深く心に刻まれました。

私が育った浅草の寺は、1945年3月の「東京大空襲」で灰燼に帰し、戦後は全
くのゼロからのスタートでした。1956年の生まれの私は本当の苦しい時期を経
験した訳ではありませんが、そんな境遇でありながら、少年時代から優れた音楽
に触れる機会を与えてくれた父には今でも感謝しています。

私が20年以上東京フィルの後援を続けている一番の理由は、毎年8月15日の
「終戦記念日」に「家族で平和を考える」をコンセプトに開催される「ハートフル
コンサート」、とても解りやすい『楽しいオーケストラ図鑑』(小学館)の発行、さら
に、青少年対象の巡回公演など、子どもから大人まで楽しめるプログラムが充実
していることにあります。今後も、小さいうちから「本物」を聴くことのできる場を
提供し続けていただきたいと願っています。

若林隆寿(わかばやし・りゅうじゅ)／1956年東京生まれ。東京大仏乗蓮寺を始め4ヶ寺の住職。浄
土宗特任布教師。浄土宗総本山知恩院顧問。大本山増上寺布教師会常務理事。一般社団法人茶
道裏千家淡交会東京第二東支部支部長。公益財団法人鎌倉能舞台理事。防災士。趣味は写真撮影
(柴田昌勝門下)。

乗蓮寺の東京大仏は、悲惨な震災や震災が起きないようにとの願いを込めて、1977年4月に建立さ
れた露座の大仏(阿弥陀如来)。東京都選出の「新東京百景」の一つ。

暑中お見舞い申し上げます。年々暑さが厳しくなりますが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。今月は、マエストロとソリスト、楽団が織りなす情感豊かな演奏をぜひお楽しみください。引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 社長 COO 兼 CFO	十時 裕樹
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IIIH 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役社長 CEO 兼 CHRO 増田 裕一
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 有吉 伸人	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 社長 COO 兼 CFO 十時 裕樹

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 高橋 薫

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 堀江 正博

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 大矢 光雄

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレソル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一財)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

(株)ネスト
代表取締役 太田 潤

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年（明治44年）に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いっそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（次ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

東京フィル 賛助会 会員募集中

2023年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立112年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後とも社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
パートナー会員	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「ご支援カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部(担当: 星野^{かのまた}・鹿丈)

電話: 03-5353-9521(平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演事業)」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度の「文化芸術による子供育成推進事業」では、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受けました。今年度も6月から12月にかけて、小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催する予定です。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- ・商品のプロモーションとして何か施策を考えたい
- ・社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- ・東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- ・新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて



主催公演のロビーでは東京フィルへのご支援についての資料をお配りしています

【広告・協賛のお問合せ】東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

当団の実施する新型コロナウイルス感染症予防対策について

- ・会場内でのマスク着脱はお客様ご自身の判断に委ねます。
 - ・会場内でブラボー等の声援をされるお客様にはマスクの着用を推奨いたします。
 - ・発熱等の体調不良のお客様にはご来場を控えていただきますようお願いいたします。
 - ・会場内では咳エチケットおよび手指消毒の実施をお願いいたします。
- 客席内は十分な換気を行っております。

ご協力、誠にありがとうございます。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	辻 姫子○ Himeko Tsuji	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	小笠原 茅乃 Kayano Ogasawara	岡村 彩香 Ayaka Okamura	大東 周 Shu Ohigashi	五箇 正明 Masaaki Goka	武田 基樹 Motoki Takeda
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	杉本 真木 Maki Sugimoto	木村 俊介 Shunsuke Kimura	山内 正博 Masahiro Yamauchi	
石川 剛 Go Ishikawa	小栗 亮太 Ryota Oguri	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	田場 英子 Eiko Taba	テューバ Tubas	ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	豊田 万紀 Maki Toyoda	荻野 晋 Shin Ogino	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山内 研自 Kenji Yamanouchi	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	中村 元優 Motomasa Nakamura	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto		
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa		黒尾 文恵 Fumie Kuroo			
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	フルート Flutes	鳥潟 さくら Sakura Torigata	トランペット Trumpets		
	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	林 直樹 Naoki Hayashi	川田 修一◎ Shuichi Kawata	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito		野田 亮◎ Ryo Noda	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	ファゴット Bassoons	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	秋田 孝訓 Takanori Akita	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	木村 達志 Tatsushi Kimura	
		廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	前田 寛人 Hirohito Maeda	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		井村 裕美 Hiromi Imura		中村 勇輝 Yuki Nakamura	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori		船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2023(令和5)年8月7日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

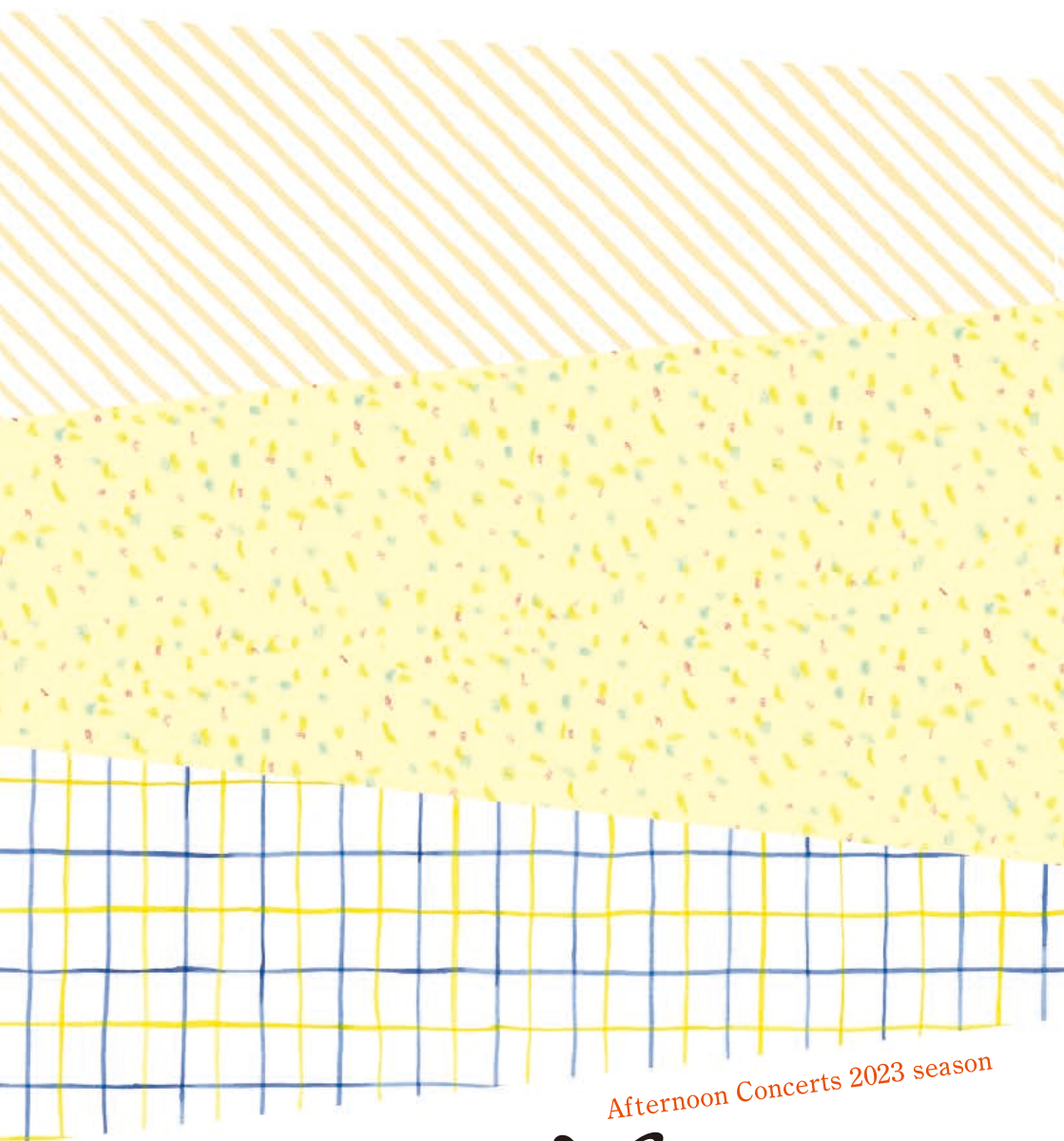
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Afternoon Concerts 2023 season

